

能登半島地震で在宅医療が果たした役割

——ACCCCの実践を通して

各位

《ご案内》

いつもお世話になっております。石川県保険医協会です。

今年度の在宅医療講演会は、輪島市の小浦友行氏（ごちゃまるクリニック院長）を講師にお迎えして開催致します。皆様日々お忙しいこととは存じますが、地域医療・在宅医療に携わり、あるいは強く連携されている皆様に、ぜひご参加いただきたくご案内致しました。講演内容詳細は次ページをご覧ください。

また、本講演会の会場は被災自治体の一つである志賀町の、志賀町文化ホールです。実際の被災地区へ足を向けるきっかけとして、そして能登を支える機会としても、ぜひとも本講演会にご参加いただければと思います。

日時 2024年9月29日（日）14:00～16:00

会場 志賀町文化ホール 第32研修室

石川県羽咋郡志賀町

高浜町力の1番地1

Tel 0767-32-2111

申込 [次ページをご覧ください](#)

※ご参加には必ず
事前のお申込みが必要です。



講師 **小浦友行氏** ごちゃまるクリニック院長

《講師紹介》

日本プライマリ・ケア連合学会 認定医・指導医
日本内科学会 総合内科専門医
日本内科学会 JMECCインストラクター
日本医師会 認定産業医
石川県認知症サポート医
日本専門医機構 総合診療専門医
剣道4段

主催・お問合せ 石川県保険医協会
電話 076-222-5373 F A X 076-231-5156
Eメール ishikawa-hok@doc-net.or.jp

能登半島地震を受け、被災自治体の一つである
志賀町で在宅医療講演会を開催します。

この機会にぜひ能登へ

輪島市のごちゃまるクリニック院長である小浦友行先生は、日本医師会が今年の3月に初めて開いた「在宅医療シンポジウム」にパネリストとして登壇し、「在宅ケアの平時を考える～令和6年能登半島地震の現場から～」というテーマでご講演されました。その中で、**A**（ケアへのアクセス：近接性）**C**（コンティニュイティ：継続性）**C**（コンプリヘンシブネス：包括性）**C**（コーディネーション：協調性）**C**（コンテキスト：文脈性）という視点から実際の活動をまとめられました。

地震発生直後からの多職種協働、医療機関連携を实践された先生の体験は、能登の復興だけでなく、これからの自身の診療向上にもつながります。この企画を通し、是非多数の保険医協会会員や関係職種の方と共有したいものです。

- この講演会はどなたでもご参加いただけます。参加は無料です。
- 参加には事前の申し込みが必要です。
- 参加定員は70名です。定員に達した場合は、予定よりも早く申し込みを締め切ります。
- 当講演はWeb等によるライブ配信は行いません。
- 受付票等はありません。事前申し込みを済ませた方は当日直接会場へお越しください。
- 自然災害、感染症の蔓延、および社会情勢の影響等により、急きょ予定を変更することがあります。中止・延期、その他の変更等、最新情報は石川県保険医協会のホームページで速やかにお知らせします。

申込締切 9/20(金)

以下の事項をご記入の上、
切り取らずこのままFAXで送信してください

F A X 076-231-5156 (保険医協会宛)

参加者名	(職種：)
	(職種：)
医療機関 または団体名	※団体名が特になければ記入不要
電話番号 またはメール	※中止等の連絡に必要ですので、必ずご記入ください。

下のURLまたはQRコードからも参加
申込みサイトにアクセスできます。

保険医協会のホームページからも
アクセスできます。



[https://ishikawahokeni.jp/
zaitakuiyou2024/](https://ishikawahokeni.jp/zaitakuiyou2024/)



<https://ishikawahokeni.jp/>

主催・お問合せ 石川県保険医協会
石川県金沢市本町2-11-7 金沢フコク生命駅前ビル7階
電話 076-222-5373 F A X 076-231-5156
Eメール ishikawa-hok@doc-net.or.jp